

2017年 大納会

2017年12月29日、この1年の取引を締めくくる大納会を行いました。
福岡市内の会員証券会社の方々をはじめ、約30名の市場関係者の皆様にご出席いただき、小田原理事長の挨拶と、引き続き理事長の音頭によって、くる年の平穩、証券界の益々の繁盛、ご列席者の皆様のご健勝を祈念して恒例の「博多手一本」を入れました。



理事長挨拶 (2017年大納会)

理事長の小田原でございます。平成29年の大納会にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

先ずは、この1年、会員証券会社をはじめ、市場関係者の皆様には大変ご苦勞様でございました。

お陰をもちまして本日、本年の市場業務を滞りなく終了し、このように無事納会を執り行うことが出来ますことに感謝し、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、この1年を思い起こしてみますと、国内では、政治・経済が順調に推移してきたと思います。

政治面では、衆議院の解散はありましたが、結果として安定した状態が継続しております。また、経済面では、企業業績が順調なことや、円安水準が保たれていることもあり、日経平均は順調に推移する等、日銀の金融緩和策の行方、消費税の動向、一部製造業での問題等、諸課題が依然としてあるものの、順調に推移した一年であったと思います。

海外に目を向けますと、トランプ政権の政策、英国のEU離脱の行方、中東情勢、朝鮮半島情勢、日・中・韓をめぐる諸課題等々、不安材料や地政学的リスクは依然として継続しています。

一方、明るい話題としては、「『神宿る島』宗像・沖ノ島の関連遺産群」が、世界遺産に登録されましたし、福岡市をフランチャイズとするソフトバンクホークスが2年振りにリーグ優勝、日本シリーズ制覇を果たしました。

しかしながら、今年もまた、九州北部の豪雨災害等、自然災害により甚大な被害を受けました。それぞれの災害で亡くなられた、多くの方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災地の皆様には心からお見舞いを申し上げます。また、関係者の方々の復興への努力に敬意を表しますとともに、各地の一日も早い復興を祈念いたしています。

証券市場を見ますと、海外では政治・経済情勢が不透明な面もありますが、世界的な景気回復が続き、特に米国では企業業績が順調で、それに米

国の株式市場が先行的に反応し、これを受け、国内の日経平均も堅調に推移し、12月25日には、2万2,939円と26年ぶりの高値をつけました。

この結果、全国証券取引所の売買代金は、昨年に比し増加しており、11月末の実績では8.2%の増でした。福証についていえば、速報値ですが売買代金は215億円と前年比25%の増となっております。このように、今年の株式相場が、上昇基調で推移してきたことは、まことに喜ばしいことであり、新年も引き続き底堅く堅調に推移してゆけばと願っているところであります。

また、福証における今年の新規上場は、1社となりました。創業機運の盛んなこの地域です。福証への新規上場を一社でも増やしていく、今一段の努力が必要です。

本年は九州・沖縄の地銀12行と、新規上場に向けての交流協定も結びました。新たに、地域の金融機関さんとも連携しながら、今後とも、新規上場促進に向け、全力で取り組んで参りたいと思います。

いずれにしましても、私ども福証は、九州を中心とした地域経済を支え、その活性化に尽力するを旨として、地域に密着し、地域から信頼される取引所を目指して、役職員一同、一丸となって取り組んで参ります。

皆様方には引き続きご支援、ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様、この1年間、本当に有難うございました。来年もよろしくお願い致します。皆様どうぞ「良い年」をお迎え下さい。